



慶應義塾大学出版会

新刊案内

2023

8月

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。



または



教育現場を「臨床」する 平積み 学校のリアルと幻想

内田良 (名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授) [著]

 **ココに注目!**

- ・疲弊する教師、ブラック校則、部活動、感染症……。
- ・子どもをめぐる不合理を可視化する。

学校における喫緊の課題である「部活動」「校則」「虐待といじめ」などの問題を、著者独自の観点から多角的に分析する。学校の虐待といじめは増えているのか。部活動はだれにとって問題なのか。校則は変わるのか。データを丁寧に分析し、結果から見える「真実」、そして子どもたちや教師たちの「苦悩」がどこにあるのかを明らかにする。

税込予価 **1,980 円** 四六判並製 / 224 頁

ISBN 978-4-7664-2905-3 C0037

対象：一般（教育関係者、保護者）

部数：★★★★★

配本予定：8 月上旬

 内田良『部活動の社会学』（岩波書店）

【営業部からのおすすめコメント】

本書は、弊社刊行の雑誌『教育と医学』リニューアルの際に開始した 18 回の連載を書籍化したものです。著者の既刊書は、ワンイシュー・ワンテーマのものが多くありますが、今回は学校をめぐる問題を広範囲に扱っています。連載の途中からは、コロナ禍と同時進行だったため、当時の記録としても興味深く読める作品。教育問題・社会問題を鋭く切り取る内容ですので、動き出しにぜひご期待ください！

(中島)

※本書は、2023 年 7 月号にて、8 月イチ押し新刊としてご案内を差し上げております。注文が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。

部数は、★で約 500 部を表します。



The Work of the Future (仮)



AI時代の「よい仕事」を創る

デビッド・オーター (マサチューセッツ工科大学教授)、デビッド・ミンデル (マサチューセッツ工科大学教授)、
エリザベス・レイノルズ (MIT Industrial Performance Center 局長) [著] /
月谷真紀 (翻訳家) [訳]

🔍 ココに注目!

- ・「テクノロジーと仕事」をテーマにした MIT の大規模研究プロジェクトから、
これからの仕事の在り方がみえてくる。
- ・すべての働く人のための未来予想図。

マサチューセッツ工科大学 (MIT) の研究者チームによる「未来の仕事のためのタスクフォース」プロジェクトの書籍化。企業や工場の先端で起っている現象を広くリサーチし、これからの労働市場の制度設計や労働者の権利保障、リスクリングなどについて幅広く政策提言を行う。日本の近未来の労働政策のあり方にも参考になる。

税込予価 **2,860 円** 四六判上製 / 240 頁

ISBN 978-4-7664-2913-8 C3033

対象: AI をはじめとする技術革新が労働に与える
動向に関心のある読者

部数: ★★★★★★

配本予定: 8 月中旬

📖 類書 メアリー・L・グレイ、シッダールタ・スリ
『ゴースト・ワーク』(晶文社)

【主要目次】

第1部

- 第1章 イントロダクション
- 第2章 労働市場と成長
- 第3章 テクノロジーとイノベーション

第2部

- 第4章 教育と訓練: より良い仕事への道
- 第5章 仕事の質
- 第6章 イノベーションのための制度
- 第7章 結論と政策の方向性

【営業部からのおすすめコメント】

近年、AI や IT 化による労働の変化について扱う書籍が増えていますが、本書は「技術進歩による経済成長の成果をいかに公平にいきわたらせるか」という視点に立ったうえでアメリカの最新状況を丁寧にとまどめ、今後取るべき政策の方向性について緻密な検討を行っている点が特長です。日本の読者にとっても示唆に富む内容ですので、ぜひ積極的な展開をお願いいたします。 (福本)

関連既刊

格差と闘え 政府の役割を再検討する

オリヴィエ・ブランシャール、ダニ・ロドリック 編 / 月谷真紀 訳 / 吉原直毅 解説
定価 **3,520 円** 四六判上製 / 400 頁 ISBN 978-4-7664-2805-6 2022 年 3 月



中国・朝鮮人の関東大震災



共助・虐殺・独立運動

武藤秀太郎（新潟大学経済科学部教授）〔著〕

🔖 ココに注目！

- ・中国・朝鮮人にとって、関東大震災とはどのような経験であったのか。
- ・近代未曾有の大災害を東アジア関係史に位置づける。
- ・現代の東アジア情勢を読みとく上でも示唆に富む一冊。

中国・朝鮮の人々にとって、関東大震災とはどのような経験であったのか。中華圏からの震災支援、虐殺事件、独立運動団体「義烈団」の動向、大韓民国臨時政府の対応などから精緻に検証する。近代未曾有の大災害を東アジア関係史に位置づける試み。

税込予価 **2,970 円** 四六判上製／352 頁

ISBN 978-4-7664-2909-1 C3021

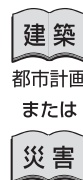
対象：一般（日本近代史に関心のある層）

部数：★★★★

配本予定：8 月中旬

📖 類書 辻野弥生『福田村事件』（五月書房新社）

※別紙にて、「〈関東大震災 100 年〉関連書目のご案内」として、【関東大震災 100 年から考える近現代史】のリストを同封しております。コーナー展開にぜひご活用ください。



平成災害復興誌



新たな再建スキームをめざして

牧紀男（京都大学防災研究所教授）〔著〕

🔖 ココに注目！

- ・雲仙普賢岳噴火災害、阪神・淡路大震災、新潟県中越沖地震、そして東日本大震災……。
- ・数多くの大規模自然災害に見舞われた平成の時代を、復興の軌跡として振り返る。
- ・南海トラフ、首都直下地震が想定される中、令和の時代の理想的な復興スキームを模索する。

日本は平成の三十余年間、雲仙普賢岳噴火災害に始まり、阪神・淡路大震災、東日本大震災などの未曾有の大規模災害に見舞われた。これらの災害と復興の変遷を辿るとともに、過去の復興スキームの検証を通して、令和の復興のあり方を考える。

税込予価 **2,750 円** 四六判並製／208 頁

ISBN 978-4-7664-2910-7 C3052

対象：都市工学・防災学・災害史研究者／自治体の防災計画担当者

部数：★★★★

配本予定：8 月中旬

📖 類書 牧紀男『災害の住宅誌』（鹿島出版会）
牧紀男『復興の防災計画』（鹿島出版会）

※別紙にて、「〈関東大震災 100 年〉関連書目のご案内」として、【関東大震災 100 年から考える現代の防災】のリストを同封しております。コーナー展開にぜひご活用ください。

部数の★は、1 つで約 500 部を表します。



おとめ座の荷風

平積み

持田叙子（近現代文学研究者、國學院大学非常勤講師）〔著〕

🔍 ココに注目！

- ・荷風は、なぜ新たな女性像を描きつづけたのか。
- ・明治の幕開けとともに作家「荷風」をつくった女性たちに迫る。

女性を近代日本文学が発掘すべき豊かな未知の沃野として見つめ、終始一貫して注目しつづけた荷風。とくに、知的な女性芸術家の出現に熱く期待した明治の若き荷風のあけぼのを、荷風の活躍を庇護した大きい兄である森鷗外、小さい兄である上田敏の女性芸術への尊敬を織り交ぜて描く。

荷風の心の中に常に在った「乙女」の姿を追求し、解き放つ作品。

税込予価 **2,970 円** 四六判上製／256 頁

ISBN 978-4-7664-2901-5 C0095

対象：一般（荷風作品の読者）

部数：★★★

配本予定：8 月下旬

📖 類書 坂崎重盛『荷風の庭 庭の荷風』（芸術新聞社）

関連既刊

荷風へ、ようこそ

持田叙子著

定価 **3,080 円** 四六判上製／336 頁 ISBN 978-4-7664-1609-1 2009 年 4 月

2009 年サントリー学芸賞（社会・風俗部門）受賞

美しい日本語 荷風 I 季節をいとおしむ言葉

永井荷風著／持田叙子・高柳克弘編著

定価 **2,970 円** 四六判上製／228 頁 ISBN 978-4-7664-2616-8 2019 年 8 月

美しい日本語 荷風 II 人生に口づけする言葉

永井荷風著／持田叙子・高柳克弘編著

定価 **2,970 円** 四六判上製／224 頁 ISBN 978-4-7664-2617-5 2020 年 1 月

美しい日本語 荷風 III 心の自由をまもる言葉

永井荷風著／持田叙子・高柳克弘編著

定価 **2,970 円** 四六判上製／224 頁 ISBN 978-4-7664-2618-2 2020 年 6 月



心理学が描くリスクの世界 Advanced

行動的意思決定の展開

増田真也 (慶應義塾大学看護医療学部教授)・広田すみれ (東京都市大学メディア情報学部教授)・
坂上貴之 (慶應義塾大学名誉教授) [編著]

🔍 ココに注目！

- ・好評テキスト『心理学が描くリスクの世界 第3版』の発展編！
- ・さまざまな分野で展開される「行動的意思決定」の研究法と事例を紹介。
- ・類書にない「意思決定と生理」についても1章を立てて詳述！

「リスクと意思決定」に関する心理学的知見の基礎知識を初めて解説した入門書、『心理学が描くリスクの世界』の姉妹編であり発展編。近年、興隆著しい行動経済学やリスクコミュニケーション等の「リスクと意思決定」の応用分野について、その基礎研究から研究事例までを幅広く紹介。また、「意思決定と生理」を詳述するほか、ナッジなど注目の話題を扱う14本のコラムも掲載。

税込予価 **3,740 円** A5 判並製 / 308 頁

ISBN 978-4-7664-2866-7 C3011

対象：(意思決定論とリスクの問題に関心を持つ)
研究者、学生

部数：★★★

配本予定：8月上旬

※本書は、2023年2月号にて、ご案内を差し上げておりますが、刊行が大幅に遅れたため、再度のご注文をお願いいたします。



大学生が知っておきたい

消費生活と法律 [第2版]

細川幸一 (日本女子大学家政学部被服学科教授) [著]

🔍 ココに注目！

- ・成人を迎えた「18歳」の方へ。
- ・身近で具体的な問題を、豊富な図表とともにやさしく解説。

「18歳成人」の今、契約は大学生が自分だけで結ぶことが出来ます。成人が早くなった分、マルチ商法はじめ大学生が直面する消費トラブルはよりリアルに。2023年では不可欠となった消費者としての「法律の知恵」を身に付ける「賢い消費者」へのパスポート！

税込予価 **2,200 円** B5 判並製 / 112 頁

ISBN 978-4-7664-2912-1 C2032

対象：大学生とその保護者

部数：★★★★★★

配本予定：8月上旬

関連既刊

『新版 大学生が知っておきたい生活のなかの法律』

細川幸一 著

定価 **1,980 円** B5 判並製 / 112 頁 ISBN 978-4-7664-2815-5 2022年3月

今月の別刷り注文書のご案内



下記の書目については、それぞれ同封の別紙（A4判色紙）にて詳細をご案内いたしますので、書籍内容はそちらで御確認いただければ幸いです。なお、注文用紙（短冊一覧）と別紙の双方に注文欄がございますが、どちらに記入していただいても構いません。

注文数が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。



宮本常一 〈抵抗〉の民俗学 地方からの叛逆

門田岳久 著

税込予価 **3,300 円** 四六判上製／416 頁 ISBN 978-4-7664-2903-9 C3039



スターリンの極東戦略 1941 - 1950 (仮)

インテリジェンスと安全保障認識

河西陽平 著

税込予価 **4,950 円** A5 判上製／336 頁 ISBN978-4-7664-2911-4 C3031



慶應義塾大学産業研究所叢書

醸造業の展開と地方の工業化

井奥成彦・中西聡 編著

税込予価 **9,350 円** A5 判上製／320 頁 ISBN 978-4-7664-2908-4 C3333

9月イチ押し新刊  受注期間 2 か月の “注目の書目” です！



井筒俊彦 起源の哲学 近代日本解釈学の系譜 (仮)

安藤礼二 著

税込予価 **2,750 円** 四六判上製／320 頁 ISBN 978-4-7664-2842-1 C0010